

美術館へようこそ

『さわるアートブック①②』に掲載された作品を所蔵している美術館は、愛知県内各地にあります。各美術館では、視覚に障がいのある方向けに、様々なサービスを行っています。館ごとに、開館時間、休館日、展示内容、サービス等は異なりますので、「美術館へ行ってみたい」と思われた方は、まずはご希望の美術館にお電話あるいはメールでご連絡下さい。

(五十音順)	電話	メールアドレス
愛知県美術館	052-971-5511(代)	apma-webmaster@aac.pref.aichi.jp
愛知県陶磁美術館	0561-84-7474	touji@pref.aichi.lg.jp
一宮市三岸節子記念美術館	0586-63-2892	migishi@city.ichinomiya.lg.jp
稲沢市荻須記念美術館	0587-23-3300	museum@city.inazawa.aichi.jp
おかざき世界子ども美術博物館	0564-53-3511	chibun-kikaku@city.okazaki.lg.jp
豊橋市美術博物館	0532-51-2882	bijutsu@city.toyohashi.lg.jp
名古屋市美術館	052-212-0001(代)	a2120001@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

観覧までの流れ

①電話でのお問い合わせ →②観覧方法のご相談〔団体鑑賞・個人鑑賞〕 →③観覧当日

各館のスタッフが、観覧方法についてご相談に応じます。学芸員やボランティアとの観覧や、鑑賞会やワークショップ等のプログラムのご案内、また立体コピーなどの補助ツールを使用した鑑賞など、各館のサービスに応じてご案内いたします。

各館のご案内

■愛知県美術館

国内外の20世紀美術を中心に、愛知や東海地域にゆかりのある作家の作品、江戸時代の絵画、陶磁器、現代美術など、幅広いジャンルの作品を所蔵しています。代表的な作品には、グスタフ・クリムトや、熊谷守一などの近代洋画のコレクション群があります。企画展では、古代から現代にいたる様々な美術動向を紹介する展覧会を開催しています。

インフォメーション

住所：愛知県名古屋市東区東桜 1-13-2 愛知芸術文化センター10階

最寄駅：地下鉄東山線「栄」駅、名鉄瀬戸線「栄町」駅

オアシス21連絡通路利用徒歩3分

開館時間：午前10時から午後6時 金曜日は午後8時まで（入館は閉館30分前まで）

休館日：月曜日（祝日にあたる場合はその翌日）年末年始および展示替え等による整理期間

観覧料：*特別展観覧料、各種手帳の扱いについては、別途お問い合わせください。

観覧料	一般	高校・大学生	中学生以下
コレクション展	500 (400)	300 (240)	無料

ウェブサイト：<http://www-art.aac.pref.aichi.jp/>

■愛知県陶磁美術館

日本における最大級の窯業地である愛知県瀬戸市に 1978 年に開館し、2013（平成 25）年 6 月には名称を「愛知県陶磁美術館」に変更しました。3 点の重要文化財を含む 7,020 点（平成 27 年 3 月末）のコレクションを有する陶磁専門ミュージアムです。日本、アジアに加え、世界各地の様々なやきものの魅力を紹介する展覧会や催事を行っています。

インフォメーション

住 所：愛知県瀬戸市南山口町 234

最寄駅：・地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、リニモ「藤が丘」から「八草」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩 600m

・名鉄瀬戸線終点「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば 1 から名鉄バス「菱野団地」経由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車（土・日・休日のみ運行）

・愛知環状鉄道「八草」駅下車、リニモ「八草」から「藤が丘」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩 600m

開館時間：・午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分 ・7 月 1 日から 9 月 30 日は、午前 9 時 30 分から午後 5 時まで（入館は閉館 30 分前まで）

休館日：月曜日（祝日にあたる場合はその翌日）年末年始および展示替え等による整理期間

観覧料：*特別展観覧料、各種手帳の扱いについては、別途お問い合わせください。

観覧料	一般	高校・大学生	中学生以下
コレクション展	400 (320)	300 (240)	無料

ウェブサイト：<http://www.pref.aichi.jp/touji>

■一宮市三岸節子記念美術館

名誉市民である三岸節子画伯の功績を讃え、生涯にわたる作品を収集、展示することによりその画業を永く後世に伝えると共に、市民の美術への関心を高め、芸術に対する造詣を深める目的で、生家跡に建設されました。アトリエの再現、ヴェネチアをイメージした水路など、画伯の思い出と深く関わった美術館です。

インフォメーション

住 所：愛知県一宮市小信中島字郷南 3147-1

最寄駅：JR 尾張一宮駅、名鉄一宮駅から名鉄バスターミナル 2 番のりば「^{おこし}起」行で 12 分「起工高・三岸美術館前」下車、徒歩 1 分。

開館時間：午前 9 時から午後 5 時（入館は閉館 30 分前まで）

休館日：月曜日（祝日にあたる場合はその翌日）年末年始

観覧料：*特別展観覧料については、別途お問い合わせください。

観覧料	一般	高校・大学生	中学生以下
	320 (260)	210 (160)	110 (80)

ウェブサイト：<http://s-migishi.com/>

■稲沢市荻須記念美術館

稲沢市出身の洋画家で主にパリの街角を描いた「荻須高德」の美術学校時代から晩年までの油彩画、水彩画、素描、リトグラフ、タピスリーなどを展示しています。また、パリのアトリエを復元した施設では、荻須が作品を制作した当時の雰囲気を楽しむことができます。

インフォメーション

住 所：愛知県稲沢市稲沢町前田 365 番地 8

最寄駅：名鉄本線「国府宮駅」または JR 東海道本線「稲沢駅」より名鉄バス「アピタ稲沢店」、「矢合観音」行き「美術館・保健センター」で下車

開館時間：午前 9 時 30 分から午後 5 時（入館は閉館 30 分前まで）

休館日：月曜日（祝日にあたる場合はその翌日）、祝日の翌日、年末年始、国府宮はだか祭の日

観覧料：*特別展観覧料、各種手帳の扱いについては、別途お問い合わせください。

観覧料	一般	高校・大学生	中学・小学生
常設 荻須高德展	310 (240)	210 (160)	100 (80)

ウェブサイト：<http://www.city.inazawa.aichi.jp/museum/>

■おかざき世界子ども美術博物館

常設展示では、有名芸術家 10 代の作品や世界の子どもの絵、玩具などを紹介しております。また、「親子造形センター」を併設、参加型ミュージアムとして気軽に創作活動を楽しむことができます。

インフォメーション

住 所：愛知県岡崎市岡町字鳥居戸 1-1

最寄駅：名古屋鉄道名古屋本線「美合」駅 徒歩約 30 分

開館時間：午前 9 時から午後 5 時（入館は閉館 30 分前まで）

休館日：月曜日（祝日にあたる場合はその翌日）・祝日の翌日・年末年始および展示替え等による整理期間

観覧料：企画展ごとに定めます*各種手帳の扱いについては、別途お問い合わせください。

親子造形センターは、入館無料ですが、別途教材費がかかります。

ウェブサイト：<http://www.city.okazaki.aichi.jp/1200/1208/1242/p010841.html>

■豊橋市美術博物館

吉田城址(現・豊橋公園)内にあり、郷土の歴史・美術を中心に紹介しています。コレクションの内容は考古・民俗・歴史・美術など多岐にわたっており、なかでも吉田城や東海道関連史料、中村正義など郷土画家の絵画作品が核となっています。

インフォメーション

住 所：愛知県豊橋市今橋町 3-1

最寄駅：JR・名鉄「豊橋」駅より市電乗車、「豊橋公園前」下車徒歩 3 分

開館時間：午前 9 時から午後 5 時

休館日：月曜日（有料展開催中、祝日にあたる場合はその翌日）年末年始

観覧料：無料（常設展・収蔵品展）

*特別展観覧料、各種手帳の扱いについては、別途お問い合わせください。

■名古屋市美術館

20世紀以降のメキシコ美術をまとめて見られる、日本で唯一の美術館です。他にも1910年代から30年代にフランス・パリで活躍した「エコール・ド・パリ」の美術家たちの作品が数多くあります。日本の美術では、明治時代から現代まで、名古屋出身者および東海3県で活躍した美術家の作品を積極的に収集しています。

インフォメーション

住 所：愛知県名古屋市中区栄 2-17-25

最寄駅：地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅 5番出口から南へ徒歩8分

開館時間：午前9時30分から午後5時、祝日を除く金曜日は午後8時まで（入館は閉館30分前まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は開館し、翌平日休館）年末年始 *臨時休館する場合があります

観覧料：*身体等に障がいのある方は、手帳の提示により本人と付添2名まで無料で常設展をご覧いただけます。

特別展は観覧料が割引になります。

観覧料	一般	高校・大学生	中学生以下
常設展	300円	200円	無料

ウェブサイト：<http://www.art-museum.city.nagoya.jp/>

■名古屋ボストン美術館

名古屋ボストン美術館は、1999年4月17日、米国ボストン美術館の姉妹館として開館しました。米国ボストン美術館が所蔵する45万点以上の古代から現代までの多彩な作品による展覧会が企画され、作品が公開されてきましたが、2018年10月8日に閉館しました。